宮城県業務説明会

福祉・社会福祉士

Miyagi
Prefectural
Government

宮城県
Miyagi Prefectural Government

福祉・社会福祉士の仕事

主に児童の福祉に関する相談・指導等業務に従事します。

配属先

本庁（子ども・家庭支援課、子育て社会推進課）
地方機関（児童相談所、子ども総合センターなど）

宮城県
Miyagi Prefectural Government

自己紹介

宮城県美里町（旧小牛田町）出身

H27.3月　**県内大学卒業**

→卒業後は、民間の高齢者施設などで介護員、相談員として勤務

R2.11月～　**宮城県北部児童相談所　家庭支援第一班**

→児童福祉司として従事

R5.4月～　**宮城県中央児童相談所　家庭支援第三班**

→同じく児童福祉司とし従事

→R8.4からは、企画調整班に内部異動。児童福祉に関する研修等の業務を担当

宮城県
Miyagi Prefectural Government

志望動機

なぜ公務員だった？

- もともと大学では児童分野を専攻。就職は縁あって高齢者分野へ。
- ずっと「児童分野でも働いてみたい」と、漠然とだが考えてはいた。
- 働いていた民間企業と比較して、福利厚生が充実していたのも魅力的でした。

なんで宮城県庁を選んだ？

- 宮城県が児童福祉司の募集を増やすという情報を目にし、「受けてみるか」と考えたのが、きっかけだったかと思います。
- 持病があり、通院の必要性を考えると、県内で働いていたかった。

宮城県
Miyagi Prefectural Government

担当した仕事

北部児童相談所　家庭支援第一班

主に家庭で生活している児童や家族への支援に従事

担当業務

児童福祉司（ケースワーカー）として、主に自宅で生活している18歳未満の子どもに係る虐待、非行、養護等の相談を受け付け、関係機関と協働しながら、子どもが安全安心して自宅で過ごすことができるように支援を行います。

宮城県
Miyagi Prefectural Government

担当した仕事

中央児童相談所　家庭支援第三班

主に施設へ入所している児童や家族への支援に従事

担当業務

様々な理由で児童施設に入所することとなった子どもについて、親子関係の再構築等を目標にしながら、子どもや親と面接を行ったり、支援機関と協力しながら、支援を行います。

宮城県
Miyagi Prefectural Government

大変だったこと

・親子関係がうまくいかず、そのストレスからこどもに問題行動がみられていたケース。
・子どもとは一緒に体を動かしながら、悩みや思いを聞いてきました。一方で保護者とも面接を重ね、どうにかして親子の関係の改善を図れないかなどを考えながら、支援を続けましたが、結果として、親子は再び離れることになってしまいました。
・児童相談所で扱うものが、虐待だけではないこと、その家庭の問題はどこにあるのか、児童相談所にできることは何か、関係機関との役割分担など、多くのことを知り、考えるきっかけになりました。
・ケースとともに、私も様々な面で成長することができたように思っており、今に繋がっていると感じております。

1日のスケジュール

※通常時
（勤務時間変更時）

宮城県
Miyagi Prefectural Government

8:30 出勤
（9:00出勤）

9:00 所内会議、各所へ連絡
（9:30会議等）

12:00 昼休み

13:00
来所面接・家庭訪問
施設訪問・電話対応等

16:00 帰庁
訪問記録作成

17:15 退勤
（17:45退勤）

入庁前のイメージとギャップ

◆ 入庁前のイメージ

- とにかく精神的にきつそう
- ひたすら動き回ってそうだし、あまり休めないかも

◆ 入庁してみたら･･･

➢ みんなで協力しながら働くことができるので、負担は分散。休みもとることができる。

➢ 記録の作成など、事務仕事が意外と多く、そちらに時間を割かれることが多い。

宮城県
Miyagi Prefectural Government

職場の雰囲気

◆ 相談しやすい、話しやすい

　公務員は数年ごとに異動があり、分からないことがあるのが当たり前。些細なことでも聞くと答えていただけますし、暖かい職場環境だと思います。

◆ “自分の生活も大事”という考え

　職員それぞれにも生活があり、休まなければならない、休みたいときはあります。この共通理解があり、フォローし合っています。

前職とココが違った！
前職の経験が役に立った！

福利厚生、給与の安定感が違った

◆休みがとりやすく、ライフワークバランスを図りやすい。

◆給与の仕組みが可視化されており、安心感がある。

対人援助技術の経験が役に立っている

◆ 今まで様々な方を支援してきた知識や経験は今の仕事にも反映されている。

◆ 保護者との共通の話題にできる

宮城県
Miyagi Prefectural Government

働いて感じる宮城県職員の魅力

◆様々な業務に触れることができる

勤務先が複数箇所あり、一つの仕事だけに絞られないため、様々な業務に触れることで、自分自身の成長に繋がる。

◆地域に詳しくなれる

異動があるので、宮城県内の様々な観光スポットや美味しいものを知ることができます。

宮城県
Miyagi Prefectural Government

私の公務員試験対策

- 一次試験については、参考書を１冊購入し、出題比率の大きい科目を重点的に勉強しました。
- 論文試験は、宮城県の現況などについて調べ、それらが自分の分野（福祉）にどのように関わるものなのかを考え、記述できるよう練習しました。
- 面接は、どのような質問がくるか、その解答を準備し、ときには家族や知人の力を借り、対策を行いました。

みなさんへのメッセージ

大変な仕事ですが、それに応じただけの経験を得ることができ、福祉の専門職として成長することができる職場だと思います。
福利厚生もしっかりしているので、ワークライフバランスの点でも、良い環境なのではないでしょうか。
是非、県職員として、一緒に働けるのを
待っています(^^)/